

吉川慎之介君の悲劇を二度と起こさないための  
学校安全管理と再発防止を考える会  
【第2回勉強会】

Apr. 27, 2014

# 屋外活動のリスク

一足りないものは大人の数と危機意識

報告者: 内田 良 (名古屋大学大学院・准教授, 教育社会学)

学校リスク研究所: <http://www.dadala.net/>

Yahoo!ニュース個人: <http://bylines.news.yahoo.co.jp/ryouchida/>

twitter: @RyoUchida\_RIRIS

twitter



## ■水の危険

学校管理下の体育的活動における死亡事故  
(1983-2012年度の30年間, 部活動指導を除く)

○水泳指導・水遊び

・ ・ ・ **212**件

[幼・保～小3：**41**件, 幼・保～小6：**120**件]

○全球技 (バスケットボール, サッカー, トouchボール...卓球, ホッケー等)

・ ・ ・ **235**件

[幼・保～小3：**6**件, 幼・保～小6：**26**件]

2009年 07月 17日

 **小さな歓声**

今週と来週は、幼稚園・保育園のおとまり保育が続きます。  
連日、ふれあいの里にはかわいらしい歓声が響いています。  
加茂川の水量も水遊びにはちょうどいい感じです。

おとといから、今年2度目の炭焼きに取り掛かっています。  
明日朝には、釜の口を閉じる予定です。  
夏の炭焼きは暑くて閉口です。  
「48時間耐久焚火」といった感じです。

2009年 07月 21日

 **大雨**

朝からひどい雨です。  
お昼過ぎに川の水が出ました。  
すごい音と水です。



2007年 07月 15日



大保木に来て初めて台風を体験しました。

雨量はそれほどでもなかったようですが、川の増水はそれはそれは、恐ろしいです。昼頃には見えていた川の中の岩が夕方にはすべて水没し、事務所に座っていても川の水が見えるようになりました。

幸い土砂崩れなど被害はなかったのですが、夏が思いやられます。

2009年 07月 27日



昨日も今日も、降ったり止んだりの天気です。

しかも、降る時はすごい雨です。

午前中、川遊びしていた川が、午後には一瞬にして濁流と化しました。  
川遊びは十分に気をつけてください。

今日は雨の中プール掃除でした。

たくさんのヤゴが出てきました。

29日、30日はいよいよ昆虫合宿です。

朝から晩まで昆虫です。

2010年 07月 12日



豪雨

昨夜から生ぬるい風が吹いていたのですが、早朝から豪雨になりました。

降りだしてから約3時間で、ふれあいの里前の川も濁流になりました。



10日の午後から、竹原市で干潟関係者の集まりがありました。若いメンバーから非常にレベルの高い報告があり、いい刺激でした。

2012年 06月 27日



毎日雨です。

ふれあいの里の前の川も増水です。

せっかく増水したので、カヌーで下ってみました。なかなかのスリルでした。

小学校団体の受け入れも一段落です。

7月、8月の土日は、宿泊の予約がいっぱいになってきました。

昨日、運動場の上の斜面でヒメボタルを見ました。

## ■ 「教育(学)」に潜む問題点

○ 「子どもが死ぬかもしれない」という前提  
(危機意識) をもっていない

○ 自然体験を礼賛することはあっても、**自然  
体験に脅威を抱くことはない**

＜小学校学習指導要領解説 特別活動編 p. 93＞

児童の発達段階や人間関係の希薄化や自然体験の減少といった児童を取り巻く状況の変化を踏まえると、小学校段階においては、自然の中での集団宿泊活動を重点的に推進することが望まれる...

学校の実態や児童の発達段階を考慮しつつ、一定期間（例えば1週間（5日間）程度）にわたって行うことが望まれる。

## ■屋外の活動における最大の問題点

○重大事故が起こりうる場所に，屋内での教諭対子ども比で向かう

例) 修学旅行

・・・30人の子どもを1～2名の教諭が引率

※「修学旅行実施基準」（全国修学旅行研究協会）の調査を参照

○上記のことについて，無自覚！

## ■求められる対策

# 屋外の活動に対する危機意識の共有

## ○十分な数の大人を確保する

# 屋外活動（自然体験）の機会・・・少ない

# 不審者対策・・・毎日

→ 人・物・金・情報を不審者対策に費やす  
余裕があるなら、その一部を屋外活動へ！

それができないならば...

## ○活動の場所を変更する